

第 4 節 環境保全活動の支援

第 1 環境保全基金による支援

環境保全に関する事業実施の財源を安定的に確保し、府域における環境保全活動の一層の充実を図るため、平成 2 年 3 月に「大阪府環境保全基金」を設置した。

平成 5 年度においては、その運用益を活用して、環境教育・府民啓発の推進、地域環境保全活動の支援、ソーラーカーレースの開催などの各種事業を実施した。

なお、平成 5 年度末現在の基金積立額は、15億2,543万435円であり、平成 5 年度基金活用事業額は、5,719万 6 千円であった。

第 2 企業における環境保全活動の促進

企業における環境保全への認識を高め、今後の環境保全に向けた実践活動を促進することを目的として、府域の民営事業所のうち従業員規模30人以上の1,000社を抽出し、アンケートにより企業における環境保全の取組状況を調査した。

調査項目は、①企業内の省資源・省エネルギー、リサイクルの取組、②企業の環境保全に関する意識と社員啓発活動、③環境保全に関する指針の策定や専門組織の設置等の社内体制の整備、④自治体への要望であり、回答数（率）は560（56.0%）であった。

調査結果をみると、使用済み用紙の再利用や昼休みの消灯など、省資源・省エネルギー、リサイクルへの具体的な取組についてはかなり進んでいるといえるが、環境保全に関する指針の策定や専門組織の設置など、組織的な取組については、今後さらに自主的、積極的な企業行動が望まれる状況であった（2-6表）。

2-6表 企業における環境保全の取組状況に関する主な調査結果

項 目	実施企業の割合（%）
省資源・省エネルギー、リサイクルへの取組	
・使用済み用紙の再利用	61.4
・昼休みの消灯	65.2
・OA機器などの不要時の停止	74.1
指針の策定等の組織的な取組	
・環境保全に関する指針の策定	12.3
・専門組織の設置	18.9
・環境監査の実施	13.4